

みずほCustomer Desk Report 2021/08/19 号(As of 2021/08/18)

市場營業部 為替營業第二子一ム

				公示仲値	109.52
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.54	1.1709	128.29	1.3738	0.7255
SYD-NY High	110.07	1.1743	128.94	1.3786	0.7269
SYD-NY Low	109.48	1.1694	128.23	1.3731	0.7229
NY 5:00 PM	109.76	1.1709	128.53	1.3752	0.7234
NY DOW	34,960.69	▲ 382.59	日本2年債	-0.1500	▲ 1.00bp
NASDAQ	14,525.91	▲ 130.27	日本10年債	0.0100	0.00bp
S&P	4,400.27	▲ 47.81	米国2年債	0.2165	0.02bp
日経平均	27,585.91	161.44	米国5年債	0.7677	▲ 0.15bp
TOPIX	1,923.97	8.34	米国10年債	1.2592	▲ 0.67bp
シカゴ日経先物	27,425.00	▲ 40.00	独10年債	-0.4830	▲ 1.50bp
ロンドンFT	7,169.32	▲ 11.79	英10年債	0.5645	0.45bp
DAX	15,965.97	44.02	豪10年債	1.1480	▲ 0.90bp
ハンセン指数	25,867.01	121.14	USDJPY 1M Vol	5.25	▲ 0.18%
上海総合	3,485.29	38.31	USDJPY 3M Vol	5.59	▲ 0.06%
NY金	1,784.40	▲ 3.40	USDJPY 6M Vol	5.80	▲ 0.04%
WTI	65.46	▲ 1.13	USDJPY 1M 25RR	-0.20	Yen Call Over
CRB指数	212.887	▲ 1.25	EURJPY 3M Vol	5.78	▲ 0.02%
ドルインデックス	93.14	0.01	EURJPY 6M Vol	6.01	▲ 0.06%

アジア	東京時間のドル円は109.54レベルでオープン。リスクオフモードの中、ドルと円が同時に買われる展開。109.48-68と20銭の小幅レンジでの推移となり、結局109.59レベルで海外時間に渡った。また、ニュージーランド準備銀行が多数の市場参加者が予想していた利上げを見送り、政策金利を据え置いたことで、NZDは一時2月以来の安値を付けた後、ほぼ前日同水準まで反発している。
ロンドン	ロンドン時間ドル円は109.59レベルでオープン。新型コロナウイルスの感染者がいまだ増え続けている事や、アフガニスタンの情勢など不安材料が多い中、比較的安全通貨とされるドル買い優勢。また米長期金利が堅調に推移した事もあり、ドル円は上昇。109.77レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は109円台半ばでレンジトレード。前日のリスクオフの地合いが継続し、リスクオフのドル買いと円買いの綱引きが続いたが、早朝にかけてポジション調整の買い優勢となり、109.82まで上昇後、109.77レベルでNYオープン。朝方は米国7月分の住宅着工件数が予想を下回るも、建設許可件数は予想を上回っており、強弱まちまちな結果に市場の反応は限定的。その後、特段の材料は見当たらなかったが、米金利が上昇する中、ドル円はじりじりと上昇を続け、FOMC議事録発表直前に高値110.07をつける。FOMC議事録公表では「最近の物価動向は一過性である可能性が高い」、「大半の参加者が年内のテーパリング開始が適切な公算と判断」などの情報伝わり、発表直後に午前中の上昇分を全て吐き出し109.80まで反落するも、特段サプライズとなるヘッドラインが見当たらなかったことからすぐに動意乏しくなった。終盤はじりじりと下落し、結局、NYオープン付近の水準の109.76レベルでNYクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.17台前半でもみ合い。米金利の上昇を受けてドルが買われていたが、対円でユーロが買い戻されており、ユーロドルにも波及していることから方向感を欠いた値動きとなり、1.1722レベルでNYオープン。FOMC議事録発表に付けてドル買いが強まったことからじり安推移が続き、昨年12月以来の水準となる1.1694まで下落するも、明確なドル買いユーロ売りの手掛かり材料が見当たらない中、FOMC議事録発表後に買い戻され、1.1743まで急反発。買い一巡後はじりじりと反落し、結局、1.1709レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・天雲 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

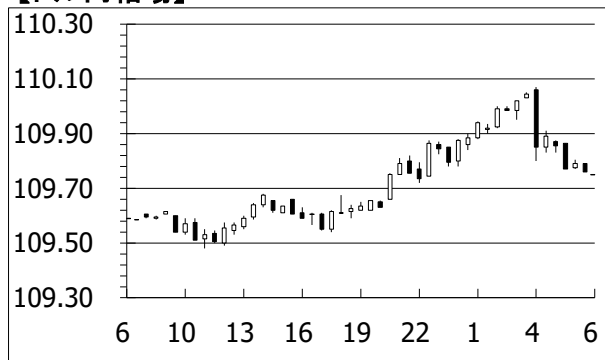
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月18日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)・確報	7月 0%/2%	0.2%/2.3%
	15:00	英 CPIコア(前年比)・確報	7月 1.8%	2.0%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	7月 2.2%/-0.1%	2.2%/-0.1%
	18:00	欧 コアCPI・確報	7月 0.7%	0.7%
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	7月 1534k/1635k	1600k/1610k
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数(前月比)	7月 -7%/2.6%	-2.6%/1.0%
8月19日	03:00	米 FOMC議事録	年内のテーパリングは適切と大部分が判断	

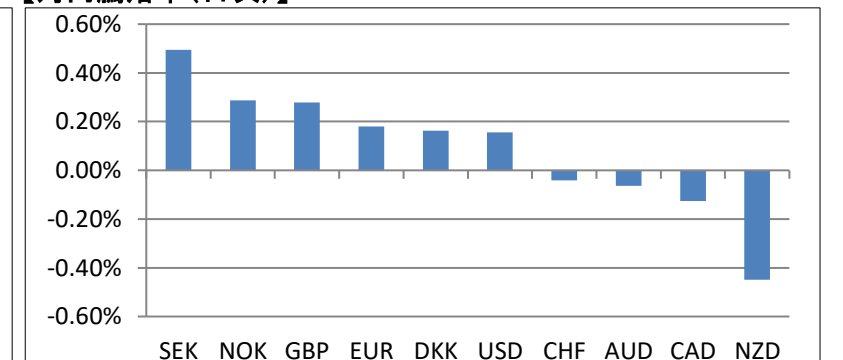
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月19日	10:30	豪 雇用者数変化	7月 -43.1k	29.1k
	10:30	豪 失業率	7月 5.0%	4.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	14-Aug 364k	375k
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況	8月 23.1	21.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.30-110.10	1.1660-1.1760	128.00-129.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇する展開。東京時間はリスクオフムードの中、ドルと円が同時に買われる展開にレンジ推移。海外時間に入り、米金利が上昇する中、FOMC議事録発表前のポジション調整からか110.07まで上昇。しかし、FOMC議事録の内容がハト派寄りであることが伝わると下落する展開となり、一巡後は109.80近辺で推移した。本日のドル円は上値の重い展開を予想。昨日は110円台を回復するも滞空時間は短い格好となった。また、NZ中銀が市場予想に反し、政策金利を据え置いた。コロナ変異株の感染拡大懸念もある中、FOMC議事録のハト派寄りの内容も受けて、上値は限定的になるのでは。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	矢野	加藤	牛島	山岸	尾身	上野	山口	甲斐		
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ペア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ペア
ブル	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ブル		15	6